

法政大学出版局●新刊のご案内

2014年4月18日

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **228** 号

帖合・番線	部数	法政大学出版局 5月12日配本 定価5400円(本体5000円+税) 宇京 頼三 著 仏独関係千年紀 ヨーロッパ建設への道 ISBN978-4-588-35230-0 C1022 中世以降、地理的にも政治的・文化的にもヨーロッパ世界の中心でありつづけたフランスとドイツ。フランク帝国時代における民族の成立から、統治者間の外交交渉や幾度も戦争、そして近代国家の誕生と崩壊をへてEU統合に至るまでの1000年の歴史を、仏独文化・思想をライフワークとしてきた著者が一気に語り下ろす。「雄鶏と鷲」と呼ばれてきた対照的な二つの国は、人類に何をもたらしてきたか。 【歴史・文化】 ☞ 両国の交渉史を巨視的に描いて、近年類書のない力作。学生・ビジネスマン向け教養書。	四六判上製・512頁
帖合・番線	部数	法政大学出版局 5月30日配本 予価4104円(本体3800円+税) デイヴィッド・リビングストン 著／梶 雅範・山田 俊弘 訳 科学の地理学 ISBN978-4-588-37120-2 C1020 ★ 科学的知識は、実験室、研究所、博物館の文書室、動植物園、病院、パブ、公共空間、観測所、フィールド調査、さらには地域や国など、あらゆる〈場所〉で生成される。本書は、科学と場所の問題について歴史をたどりながらさまざまな角度から論じ、科学的客観性が実は、つねに「どこからかの見方」にほかならないことを提示し、科学論における「地理学的転回」を試みた意欲作。 【科学史・地理学】 ☞ 好評既刊：J. ラウズ／成定ほか訳『知識と権力』、D. ヘッドリック／塚原・隠岐訳『情報時代の到来』など。	四六判上製・312頁
帖合・番線	部数	法政大学出版局 5月下旬配本 定価2916円(本体2700円+税) 今井 敬潤 著 栗 ISBN978-4-588-21661-9 C0320 ★★ 縄文時代に栽培が始まり、縄文人の主食でもあった栗。日本人の暮らしで食材としてはもとより、建築や木工の材、鉄道の枕木など多様に利用されてきた。病害虫の大量発生で壊滅的な被害を受けた昭和初期以来、品種改良に取り組んだ技術者たちの苦闘の足跡や、収穫作業と貯蔵技術の実際を資料と聞き書きによってたどり、わが国における栽培と利用の歴史を概観する。 【文化史・植物】 ☞ 好評既刊：ものと人間の文化史『柿洪』『落花生』『有用植物』『採集』『梅』など。	四六判上製・272頁 《ものと人間の文化史166》
帖合・番線	部数	法政大学出版局 6月中旬配本 予価3780円(本体3500円+税) 江橋 崇 著 花札 ISBN978-4-588-21671-8 C0321 ★★ 法制史を初め文学作品におよぶ膨大な文献を渉猟し、海外の研究も参照して、その誕生から現在までを辿り、絵柄の変遷にまつわる数々の謎、各時代における賭博性の有無、取締りの実態、さらには日本の植民地経営において花札がいかにか利用されたかまでを明らかにする。花札をその本来の輝き、自然を敬愛して共存する日本の文化という特性のうちに描いて、花札＝賭博という強固なイメージを正す力編。 【日本文化史】 ☞ 好評既刊：ものと人間の文化史『賭博』ⅠⅢⅣ、『合せもの』『遊戯——その歴史と研究の歩み』など。	四六判上製・374頁 《ものと人間の文化史167》

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： [] E-mail： []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。

法政大学出版局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3
Tel. 03-5214-5540 Fax. 03-5214-5542 E-mail: sales@h-up.com URL: http://www.h-up.com/